

「オミクロンはほとんど無症状なのに PCR でどんどん膨れ上がる感染者数…しかしデータで見ると対処法がわかってくる」

令和4年1月27日

●皆さんからの質問

オミクロン株の対応についてどうお考えでしょうか。

●西田昌司の答え

オミクロン株感染者のほとんどが無症状あるいは軽症ですし、重症者はほぼゼロという状況です。現在は PCR 検査によって感染者のカウントがされるが故に大騒ぎになっていますが、PCR 検査が今ほど広まっていなかった数年前までならばそもそも騒がれるようなことにもならなかったでしょう。

日本においては新型コロナウイルス感染症で1万8千人以上の方が亡くなられましたが、他国と比較すると日本の死亡者数はかなり少ないですし、日本において毎年10万人以上の方が肺炎で亡くなっていることを考えると、新型コロナウイルスは日本人にとってはたいした疫病ではなかったとの判断が今では可能です。コロナ禍の最中、(新型コロナウイルス感染症以外の原因で亡くなる方が少なくなったことで)日本の平均寿命が伸びたのは重大な事実です。

昨年、日本において8割以上の方がワクチン接種の協力をしていただいたお陰で、新型コロナウイルス感染症は昨年で終息したと言っても過言ではない状況となっています。昨年の暮れあたりにオミクロン株が南アフリカで確認されてから一気に世界中に広がりましたが、感染力が非常に強い反面、毒性は非常に弱いがために重症者はそれほど出ずに、南アフリカでもピークアウトして日常生活を取り戻しつつあります。

濃厚接触者を隔離しなければ感染者は広まりますが、たとえ広まったところで重症には至らないとなると、逆に感染を広めて皆で集団免疫を獲得した方が終息が早まってかえって有難い話であります。このようなことを私は自民党の部会において再三申し上げているところです。

徒に新型コロナウイルスを恐れるのではなく、データを元に正しく恐れることが大切です。ネットを見れば、新型コロナウイルスに関する正しいデータが簡単に手に入るので、先ずはデータを直視することから始めなければなりません。

NHKの『特設サイト 新型コロナウイルス』^{*1}等でデータを見てみましょう。感染者数を見ると、今回のオミクロン株は去年の第5波の時と比べて急激に増えていますが、死者数や重症者数は第5波の時と比べて非常に少なくなっています。すなわち、オミクロン株は従来の風邪と変わりありませんし、PCR検査をして陽性者を隔離するという第5波までと同じような扱いをする必要は全くありません。そのような過剰な対応によって医療崩壊のリスク等を心配しなければならなくなるという、非常に馬鹿げた状況となっています。

濃厚接触者を10日間も隔離するといった対応をすると、社会が回りません。犯罪者を捕まえようにも警察官の数が足りなければ捕まえられませんし、火事が起こっても消防士の数が足りなければ火事も消せません。今、様々な現場で人手が足りていませんが、これはひとえに行政の過剰な対応が招いた災厄ですから、適切な対応に改めることで簡単に問題は解決するのです。

政府も厚労省も政治家も、私のような主張に正当性があることを皆、薄々は気付いているのですが、なかなか方向転換ができません。しばらくすれば自然にピークアウトしてくるので、そのタイミングで今の過剰な対応を改め

^{*1} <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>

れば良いと日和見をしていますし、もしも今のタイミングで思い切った転換をすることで何かまずいことがあれば自分の身に降りかかってくるので、それを恐れているのです。しかし、それでは国民は救われません。

マスコミも現実のデータを把握しているはずですが、ほんの一部の重症者や死亡者の例を挙げて不安を煽ることで視聴率を上げようと構えていますから、国民に真実が伝わりません。しかし、今はネットで真実を容易に知ることができる時代です。

マスコミが垂れ流す情報を鵜呑みにすることなく、いろいろな情報を自ら収集する目覚めた国民が増えることが、政治家や役人を正しい方向に導く何よりの力となりますし、国民が目覚めなければこの国は救われません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>